

令和2年度

インフラメンテナンズ国民会議
事業計画書

令和2年6月

インフラメンテナンズ国民会議

Japanese Congress for Infrastructure Management

1. 運営の基本的な考え方

我が国のインフラは、高度経済成長期などに集中的に整備され、高い経済・生活水準の短期期間での実現に貢献してきた。しかし、我が国のインフラは老朽化が大きく進行しており、人口減少や地域経済縮小がさらに進んでインフラサービスの維持が困難となると、我が国や地域の経済や生活に大きく影響することが懸念される。すなわち、地域の今後の展開はインフラメンテナンスの成否が鍵を握っていると言っても言い過ぎではない。よって、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保し、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムへの転換を図ることは喫緊の課題である。

インフラメンテナンス国民会議（以下、「国民会議」という。）は、インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的として、平成 28 年 11 月 28 日に設立された。具体的には、インフラ老朽化の課題を社会全体で解決する新たなモデルを実現するため、施設管理者や建設業のほか異業種産業、市民、学術研究機関等の産学官民のあらゆる主体の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして運営している。

設立時に 199 者だった会員も 1965 者に増え（令和 2 年 6 月 12 日現在）、会員または社会から国民会議に寄せられる期待も高まっている。昨年度は地方フォーラム活動の推進により活動のさらなる活性化を図り、その結果、フォーラム等での支援自治体数は 58 自治体、地方フォーラム開催数は 35 回、マッチング・現場試行実施数は 65 件であった。また、国民会議設立後の新技術の実装数は 8 技術 73 現場に至っている。

本事業計画書は、インフラメンテナンス国民会議実施要領に基づき定める事業計画であり、また、国民会議が社会に貢献していくために会員が共有すべきビジョンや中期展開などをまとめており、これに基づき令和 2 年度の国民会議を運営していく。

(1) 国民会議の目指す理念とビジョン

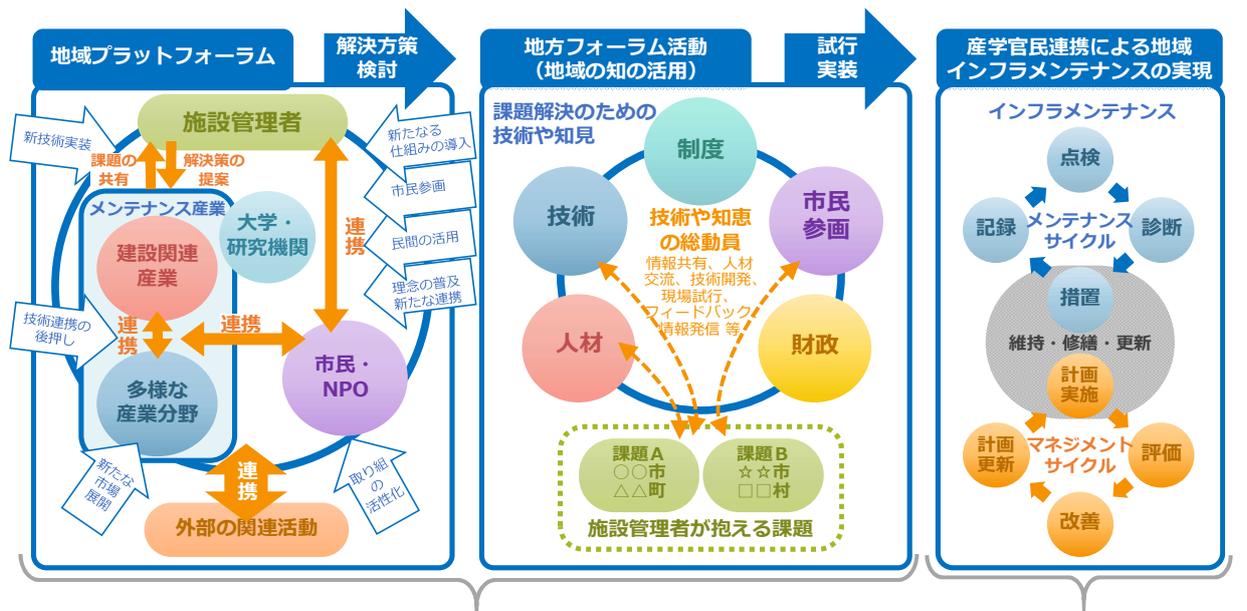
会員は、以下の国民会議が目指す理念とビジョンを共有しながら、その実現に向け、インフラメンテナンス国民会議実施要領第三条に規定される事業内容を一丸となり取り組む。

（理念）

- ・ 産学官民がインフラ施設を「自律的・継続的」に維持管理することが可能な仕組みの構築に向けて支援する（インフラの価値を高め、地域の活性化を促進）。

（ビジョン）

- ・ 産学官民が知恵を出し合い、オープンイノベーションによってインフラ老朽化の課題を解決し、少子高齢・人口減少社会におけるより豊かな未来・まちづくりに貢献する。
- ・ 持続的にインフラ老朽化の課題の解決にあたるため、メンテナンス産業の魅力を高め、その裾野の拡がりを目指す。



オープンイノベーションの基盤 メンテナンス産業の対象範囲
 図-1 インフラメンテナンス国民会議の役割とビジョン

(2) 中期的な展開（令和元年以降）

国民会議設立以降、地方フォーラムも含めた活動により短期的な目標である「自治体へのインフラメンテナンスの重要性と理念の浸透」が図られてきた。令和元年度以降、さらに中期目標として「地方におけるインフラメンテナンスの生産効率化に向けた動きの加速化」を定め、活動を実施している。

（年次別の展開概要）

- ✓ H28 年度：国民会議の設立、5 フォーラムの設立
- ✓ H29 年度：既存 5 フォーラム活動の加速、地方フォーラムの設立、相互連携、成果の発現
- ✓ H30 年度：フォーラム活動の充実と相互連携加速、成果の発現
- ✓ R 元年度：国民会議活動の充実、成果の加速度的発現
- ✓ R 2 年 度：過年度の取り組み結果に基づき、各フォーラム間の情報共有の実現と課題解決の推進、さらには国民会議の自律的活動の実現に向けた対応実施

（活動の方向性とその中期的な目標）

- ・ 運営体制

設立時に計画された実行委員会、部会や全国フォーラムの活動をベースに地方フォーラム活動を核とした自治体インフラメンテナンスの課題解決に向けた活動を企画、運営する。

- ・ 地方自治体への支援

地方自治体が令和 2 年までに行う個別施設計画の策定、実施を支援するため、

会員自治体の抱える課題や国民会議における解決の到達点を明確にし、その解決を目指した地方フォーラム活動を企画、実施していく。

具体的には、包括的民間委託や技術者派遣等の自治体支援方策について、包括的民間委託の事例の横展開や技術者派遣の制度化等の取組を「自治体支援フォーラム」の支援の下、官民連携して進め、良質で健全なサービスおよび市場形成を目指す。

さらに、地方フォーラムにおいて国民会議活動の基本である「インフラメンテナンスの理念の普及」に努めることとし、具体的な活動として「企業等の連携の促進」による「革新的技術の発掘と社会実装」や「インフラメンテナンスへの市民参画の推進」によりインフラメンテナンスの生産性向上を目指す。

自治体の支援は地方フォーラムが主体となり実施する。支援にあたっては実行委員会、全国フォーラムと連携を強化し、活動分担の明確化を図る。

- ・ 地方フォーラム活動の推進

地方フォーラムは地域レベルにおける地域の課題解決を目指した運営を図る。その中で共通課題に関しては全国フォーラムと連携し、新たな仕組みや技術・手法の地域における試行、さらには実装に向けた検討を行う。

- ・ 革新的技術の発掘と社会実装

インフラメンテナンス革命をもたらす革新的技術について、社会実装や現場試行のきっかけを生み出す、シーズ側とニーズ側との情報交換や人材交流を全国的に促進する。また、我が国のインフラメンテナンスの海外への市場展開を促進するため、海外市場に展開する具体的な案件を形成する。

- ・ 企業等の連携の促進

インフラメンテナンスにおけるオープンイノベーションをさらに加速するための会員内外の企業等の連携のきっかけとなる取組を進める。

- ・ インフラメンテナンスの理念の普及

インフラメンテナンスおよび国民会議の理念を社会に徐々に浸透させる。

- ・ インフラメンテナンスへの市民参画の推進

インフラメンテナンスへの理解や、市民参画の有り様についての社会の共通認識を徐々に形成するとともに、新たに市民参画に実践するモデル地域を発掘し、実現する。

図-2 に過年度の取り組み結果に基づく今年度活動の基本方針を示す。過年度成果である①プラットフォームとしての機能の確立、②インフラメンテナンスの理念の普及をベースとし、各地方フォーラムを窓口とした連携活動により地域の課題解決を具体的に進める。さらに具体的な解決策については全国への展開を推進していくことで国民会議活動の実効性を高めていく。

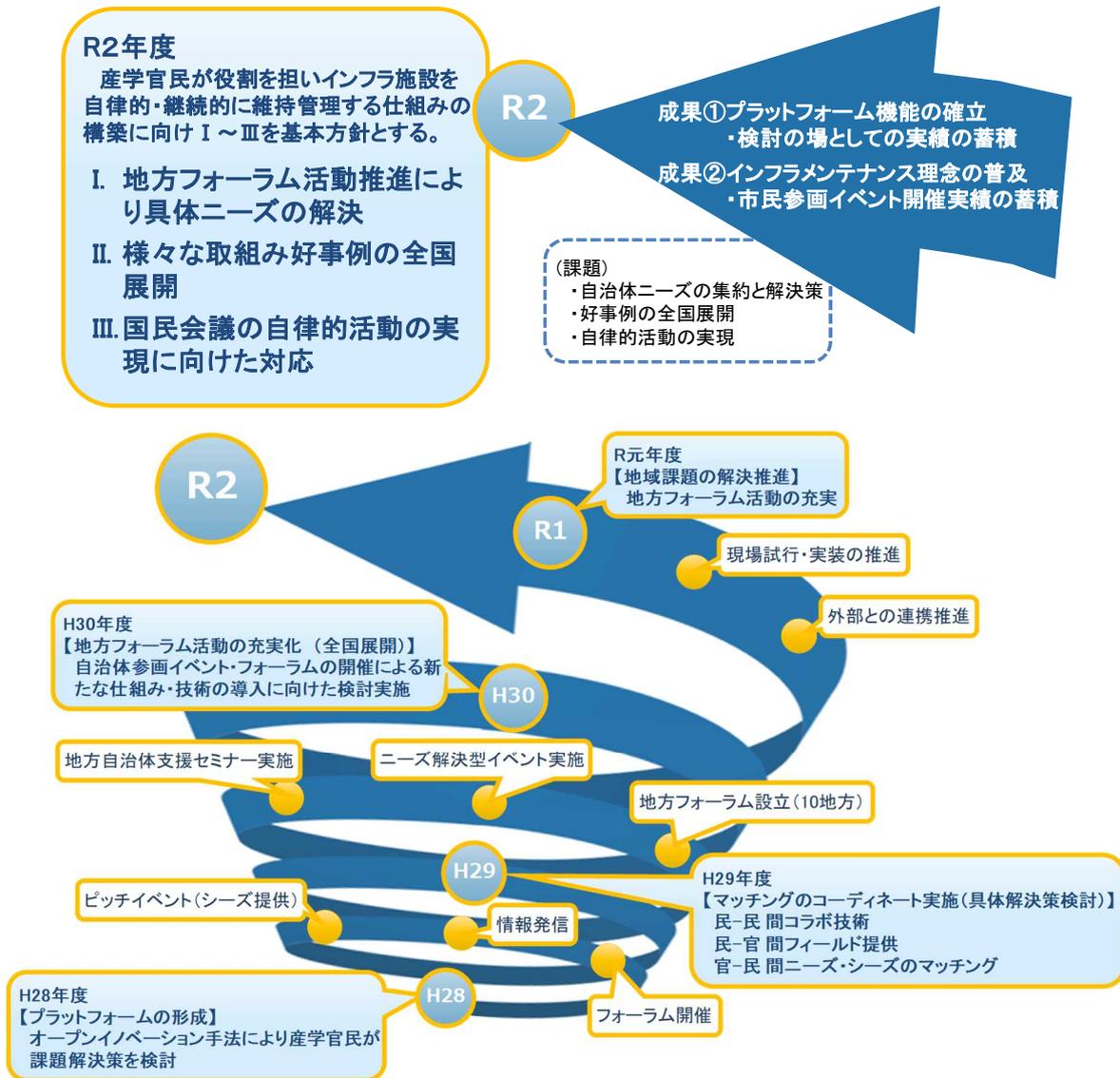


図-2 過年度成果と R2 年度活動の位置づけ

(3) 国民会議の運営

メンテナンス体制の維持が困難もしくは課題を抱えている地方自治体等が、厳しい財政事情や地域の担い手が不足する中で、今後策定が進められる個別施設計画に基づき着実にメンテナンスを実施していくためには、抜本的な生産性革命をもたらす新たなインフラメンテナンスの仕組みを各地域で産官学民連携により実現しなければ、適切なメンテナンスが立ちゆかなくなる可能性がある。

このため、国民会議では、インフラメンテナンスの将来像として、インフラメンテナンスの各段階における革新的技術の導入や行政分野における民間ノウハウの活用

みに関する検討を行う。ここでは、インフラメンテナンスの要素である人材、資機材、システム、マネジメント等の導入に関し、施設管理者側、担い手側双方による地域間や広域的な共同化、市民や他産業との共同化、または地域づくりなどの新サービスへの展開等、これまでの枠組み、仕組みにとらわれず、生産性革命を実現するものを自治体支援の目指すべき将来像として描き出す。

そして地方フォーラムにおいて具体施策の試行・実装を目指す。

また、その実現に国民会議として取り組むため、会員間の将来像の共有や社会への情報発信などにも取り組む。

・実行委員会・企画部会・広報部会

事業計画に基づく自律的な運営（活動成果の実装による効率的なインフラメンテナンスの実現）に向け、地方フォーラムとの連携強化・地方フォーラム間の情報共有に重点を置いた運営を行う。また、活動成果の実装を目指し外部機関との情報共有を進め活動の拡大を図る。主な役割は以下の通りとする。

- ・ 実行委員会と地方フォーラム間の情報共有と実行委員会を介した地方フォーラム間の情報共有の推進実施。特に地方フォーラムを地域のインフラメンテナンスの課題解決の基盤とするべく、全国 10 ブロックの地方フォーラムの方向性や活動状況を把握し、全国での共有化を図る。また、情報活用・管理の体制に関し検討を進める。
- ・ 企画部会は、様々な課題・問題解決のための具体施策の検討と実行委員会への提示を行う。
- ・ 広報部会は、各フォーラム活動の情報共有化推進と各フォーラムへの実施方針の浸透に関する情報提供について積極的な支援を行う。
- ・ 実行委員会の地方フォーラム地区担当（自治体支援フォーラムの構成員）は、実行委員会の実施方針の浸透や全国フォーラムの情報共有、各フォーラム間の情報共有を目的として、地方フォーラム対応の窓口となり地方フォーラムの円滑運営の支援を行う。

図-3 に運営体制の概要を示す。

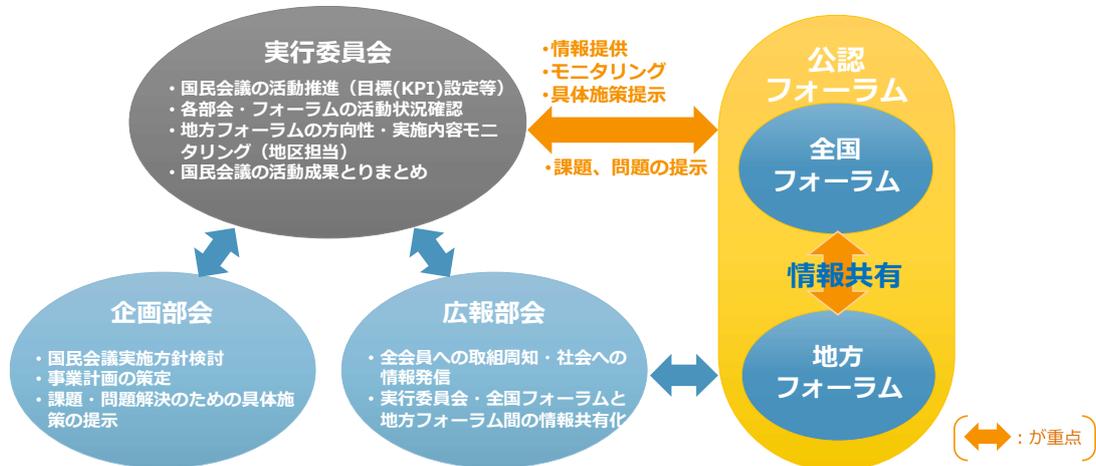


図-3 運営体制の概要

2. 事業計画

(1) 令和2年度における活動の方針

今年度は特に、①各フォーラム間の情報共有推進、②市民を対象としたインフラメンテナンスの理念の普及、インフラメンテナンスへの市民参画の推進、③外部の関係組織・団体との連携を重点項目と定める。

① 各フォーラム間の情報共有推進

各フォーラム間の情報共有推進ならびに情報提供の基盤となる情報提供プラットフォームにて提供する過年度活動成果の取りまとめを実行委員会、各フォーラムにおいて行う。

また、取りまとめた情報は早期に共有を図る。

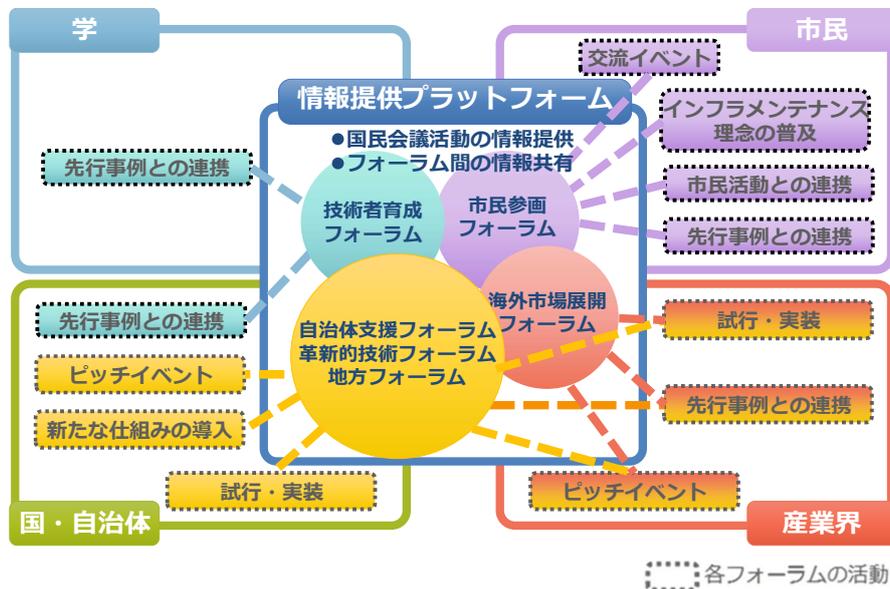


図-4 情報提供プラットフォームのイメージ

(各フォーラム実施の産学官民との活動結果の共有化を図る)

提供情報の例-1

項目	効率化技術のニーズとシーズのマッチング例	
技術テーマ	河道・堤防を効率的な点検・診断を行う技術	
技術分野	道路・(河川)・砂防・海岸・港湾・建物・・・・	
ニーズ側	自治体名称	〇〇県
	求める内容/条件	河道・堤防の点検・診断時に、近接目視と同等以上でかつ効率的で安価な技術、特に車が進入できない箇所での近接目視点検と同等以上の点検技術
シーズ側	企業等名称	〇〇〇会社
	技術名称	SAR衛星によるインフラ変位モニタリング
	技術の概要	SAR衛星(ALOS-2)のデータ(合成開口レーダ及び画像)を使用したモニタリング及び変状箇所の抽出技術・・・・

提供情報の例-2

項目	市民参画活動の取り組み例

略

② 市民を対象としたインフラメンテナンスの理念の普及、インフラメンテナンスへの市民参画の推進

インフラメンテナンスの理念の普及活動としてインターネットによる情報発信を強化し、活動の推進を図る。また、インフラメンテナンスへの市民参画の推進に関しては、行政と市民の協働事例を収集し、広く紹介するとともにモデル事例の展開を行う。加えて小学生向けの出前授業や問題解決のためのワークショップ講座を開催する。

③ 外部の関係組織・団体との連携

国民会議の運営においては様々な機関や取り組みとの連携が重要となる。今年度は「インフラメンテナンス新技術・体制等導入推進委員会」「土木学会」との連携に加え、外部の関係組織・団体によるインフラメンテナンスに係わる取り組みを把握する。その上で国民会議との役割分担を明確にし、一層の取り組み効果発現を目指す。

さらに、地方自治体の取組を推進するため、インフラメンテナンスに強い関心を有する市区町村長が参加する「リーダーフォーラム（仮称）」の立ち上げに向けた取り組みを引き続き進める。

また、国民会議の目指す社会のビジョンや国民会議のミッション、中期的な活動の方向性、内容については企画部会を中心に検討を行い、具体施策として実行委員会に提示し今後の国民会議の運営や組織体制、関係省庁による支援等に反映する。

関係省庁によるインフラメンテナンス大賞については今後関係省庁と連携し、第4回表彰案件等の全国的な普及を図る。

成果目標と令和2年度のKPIを以下に示す。

・成果目標

地域がインフラ施設を自律的・継続的に維持管理することが可能な仕組みの構築
ならびに継続的に改善・イノベーションができる環境整備

・令和2年度のKPI

① 国民会議の運営

情報活用・管理：情報活用方法の検討ならびに情報共有方法を構築する。

② 地方自治体への支援ならびに自治体（地域）の課題解決に向けた具体取組みの推進

実効性：新技術・既存技術の適用・応用さらには、新たな仕組みの現場試
行、規制緩和・要領改訂に向けた検討等による支援自治体数 100
とする。

活動活性化：地方フォーラム実施数 50 回とマッチング・現場試行実施数 150
回とする。

水平展開のための運営ノウハウ（成功例・失敗例・反省）を、各
地方フォーラムは1事例以上作成し提出する。

③ 自治体（地域）の課題解決に向けた具体取組みの推進

自治体会員数の増加による具体課題解決に向けた対応の活性化を目指すこととする。

上記の内、特に地方フォーラムを中心に推進していく内容につき以下に整理する。

項目	K P I
自治体支援 (新技術・既存技術適用、新たな仕組み導入等)	支援自治体数：100 地方フォーラム実施数：30 マッチング・現場試行実施数：100 自治体会員数：60%
市民参画	出前授業およびワークショップ開催数：5

(2) 全国フォーラムの運営

① 革新的技術フォーラム

・運営方針

施設管理者の課題に対し、解決策となりうる会員が有する技術・サービス等についての集約と施設管理者に対する情報提供を行うとともに、実装に向けた課題（技術評価方法、基準見直し等）を整理し、インフラメンテナンス（メンテナンスサイクル&マネジメントサイクル）の効率的運用を目指す。

・今年度重点活動項目

産・学で保有している革新的技術の社会実装を加速させるべく、会員が有する技術・サービスを技術マップとして整理することで、自治体ニーズのマッチングの活性化を支援する。

② 海外市場展開フォーラム

・運営方針

海外市場への展開のため、海外進出を希望する会員を対象として、海外で活用できる技術の整理、海外における技術需要の調査、海外での知名度向上を図る取組を行うとともに、具体的な海外進出の案件（市場）形成を進める。

・今年度重点活動項目

東南アジアにおいてメンテナンス上の技術的課題を踏まえたケーススタディやセミナーを実施し、海外に我が国の技術の質の高さに関する理解を広め、日本企業の受注機会拡大を支援する。

③ 自治体支援フォーラム

・運営方針

地方自治体が令和2年度までに策定、実施する個別施設計画の計画策定や実施の体制確立を支援するため、会員自治体の体制や課題を実行委員会の地区担当を介して地方フォーラムを通じ把握し、自治体の課題・ニーズ、取組について情報共有を行う。

また、包括的民間委託，技術者派遣等の制度・体制に関する全国的テーマについてのノウハウの情報交換等を行う自治体支援フォーラムを継続的に開催する。

・今年度重点活動項目

今年度は地方フォーラム間ならびに全国フォーラムと地方フォーラム間の情報共有に重点を置く。このため実行委員会の地方フォーラム地区担当者を自治体支援フォーラムの構成委員とし、官主体の構成から官民の構成とする。

自治体支援フォーラムの役割と今年度の活動内容を下表に示す。

自治体支援フォーラムの役割と今年度の活動内容	
自治体の課題・ニーズ、取組みについての情報共有、情報交換を地方フォーラム等を通じて実施し、地方フォーラム間の情報格差の是正、活動の支援を行う	
地方フォーラムごとの活動方針整理	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会地区担当との情報共有ならびに連携 ・地方フォーラム毎の活動計画把握と過年度までの実施状況の整理。 ・事業計画書に基づく地方フォーラムごとの活動方針整理。
各地方フォーラム間の情報共有方法検討	<ul style="list-style-type: none"> ・各地方フォーラムの活動において共有すべき情報について今年度活動の参考情報として提供する。 ・各地方の課題・ニーズ、取組みについての情報発信と自治体間の情報共有・情報交換を促進（定期的な情報共有方法の確立/情報共有フォルダの活用 等） ・地域内、広域間の連携促進（情報共有推進） ・地方フォーラム活動の広報（方法の検討含む）
自治体関与の道筋検討ならびに対応実施・具体のモデル作り支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地方フォーラムを通じ自治体ニーズを把握し内容を整理する。そのうえで自治体の抱える課題を抽出する。 ・地方フォーラムを通じ試行、実装の実態把握を行い、支援方策案を検討し企画部会に提示する。 ・社会インフラテック 2020 における企画を検討する。

④ 技術者育成フォーラム

・運営方針

包括的民間委託，技術者派遣等の新たな民間ノウハウを活用する手法において、担い手側に求められる企業連携やマネジメント体制の確立に向け、地域の担い手側に求められる役割や技術の方向性を模索するシンポジウムを地方フォーラムと連携して開催する。また、インフラメンテナンスの課題解決の具体方策として求められる技術者の資格や制度の枠組み等について検討を進め、試行さらには実装を目指す。

・今年度重点活動項目

今年度は、自治体支援フォーラム、地方フォーラムと連携し、官民の技術者による課題解決ワークショップを開催する。また、地方フォーラムでのインフラメンテナンス時代のリーダー育成を目指す先進的な取組み。（例えば：「ちゅうごく」フォーラムでの取組み「工業高校生による道路パトロール活動」）をフォーラムの連携活動として支援していく。

⑤ 市民参画フォーラム

・運営方針

インフラメンテナンスにおける市民参画の意義を認識し、市民と行政の協働を促進しようとする機運のある地域に対し、その理解を深め導入を支援する。このため、インフラメンテナンスにおける市民参画についてのイベントやワークショップ等を地方フォーラムをはじめとし、他のフォーラム活動と連携して実施する。

・今年度重点活動項目

今年度は小学校出前授業および問題解決のためのワークショップを各地方へ展開していく。加えて行政と市民の共同事例を広く紹介しモデル事例の展開を行う。

(3) 地方フォーラムの運営

全国の10ブロックにおいて設立した地方フォーラムにおいて、地域を拠点として扱うことが妥当な地域単位の課題を対象として、様々な情報発信、交換等によるニーズ解決型のフォーラムを開催する。また、ニーズ解決方策としての技術や仕組みの適用を企業間連携や産学官民間連携により構築し、現場試行をはじめとする解決策の実装、事業化等の成果の実現を目指す。

さらに、自治体間の情報共有・交換による上記取組の推進や自治体間連携を促進する。

(4) 広報活動

インフラメンテナンスの理念の普及ならびにインフラメンテナンス国民会議の将来像を共有するため、国民会議の主催事業としてシンポジウム・イベント等の広報を実施するとともに、インターネットによる情報発信やマスメディアによる紹介、地域貢献活動等を支援し、国民会議による協力事業として広報する。特にインフラメンテナンスに係る様々な取り組みや国民会議の過年度成果を紹介し、インフラメンテナンスの理念の普及、実装の全国展開を推進する。

併せて、インフラメンテナンス大賞等のベストプラクティスの収集に努め、会員間での情報共有を進めるとともに、シンポジウムやイベントを通じて紹介し、それらの事例の全国への拡大を図る。

(5) 自治体（地域）の課題解決に向けた具体取組みの推進

地域のインフラメンテナンスの課題解決の基盤となるのが、「地方フォーラム」である。

図-5では、地域がインフラ施設を自律的・継続的に維持管理することが可能な仕組みの構築を地方フォーラムが地域の自治体とともに、産学官民で課題解決を図っていくことを示している。図-5に「インフラメンテナンス地域展開」の方向性を示す。



図-5 「インフラメンテナンส์地域展開」の方向性

3. 全国フォーラム実施計画

以下に、全国フォーラムの実施計画を示す。

(1) 革新的技術フォーラム

実施計画概要

今年度目標	「施設管理者の課題に対して、会員が有する技術・サービス等について集約・情報提供を行うとともに、革新的技術の社会実装に向けた課題整理を行う。」という運営方針のもと、革新的技術の社会実装が進まないという課題に対処していく。 R2年度は、新技術社会実装に必要な項目（要素）を整理し、当該要素を盛り込んだ DB（技術マップ）を、ある特定分野の技術をターゲットに試作する。
実施内容	(1) 社会実装に至らない要因の深堀 昨年度まで地方フォーラム等で実施した社会実装活動（ニーズ・シーズマッチング）を事例に、社会実装までに至らない要因を以下の項目を中心に深堀し、新技術社会実装に必要な項目（要素）を整理。 ①新技術の有効性評価、②国の試行、③インセンティブが働くような契約体系、④成功事例／有効性が確認された情報整理、⑤技術職員不足に対応できる環境、⑥技術職員不足に対応できる環境 (2) 具体的な深堀 何かの特定技術分野をターゲットに、上記（1）で明確にした項目を追記した技術マップ試作。
行程	～R2年6月末 実行委員会での活動承認、革新技術フォーラム内での活動合意 ～R2年9月末 自治体支援フォーラム（+地方フォーラム）との連携活動協議、実行体制確立 ～R2年12月末 社会実装に至らない要因の深堀（地方自治体職員ヒアリング等） ～R3年3月末 特定技術部分野をターゲットにした技術マップ試作版作成
体制	✓自治体支援フォーラム（必要により地方フォーラム）との連携 ✓他委員会（社会資本メンテナンス小委員会技術部会）との情報交換、情報共有 ※いずれも未調整、未合意
イベント予定	R2年11月末 自治体職員による意見交換会（本音トーク会） （インフラテック展時、他フォーラム連携）
その他	

(2) 海外市場展開フォーラム

実施計画概要

今年度目標	・運営方針 海外市場への展開のため、海外進出を希望する会員を対象として、海外で活用できる技術の整理、海外における技術需要の調査、海外での知名度向上を図る取組を行うとともに、具体的な海外進出の案件（市場）形成を進める。 ・今年度重点活動項目 東南アジアにおいてメンテナンス上の技術的課題を踏まえたケーススタディやセミナーを実施し、海外に我が国の技術の質の高さに関する理解を広め、日本企業の受注機会拡大を支援する。
実施内容	・東南アジア諸国の一部（2ヶ国程度）を対象とし、老朽化やメンテナンス上の課題を抱える施設を対象にケーススタディを実施し、技術的課題の解決と本邦技術の活用提案を行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジア諸国の1カ国を対象とし、我が国の技術の質の高さに関する理解を広め、日本企業とのビジネスマッチングを目的としたセミナーを開催する。
行程	<ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期：過年度の取組及び今年度の実施方針等をフォーラムメンバーと共有 ・第2四半期：現地調査の実施（老朽化状況、維持管理の取組状況等）、ケーススタディの対象施設の選定及び施設の状況を把握 ・第3四半期：現地調査の結果を踏まえた分析、セミナー開催準備 ・第4四半期：セミナーの開催、次年度に向けたフォローアップ
体制	
イベント予定	秋頃：現地調査実施 冬頃：セミナー開催
その他	※なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、実施内容、行程は変更する可能性有

(3) 自治体支援フォーラム

実施計画概要

今年度目標	自治体の課題・ニーズ、取組みについての情報共有、情報交換を地方フォーラム等を通じて実施し、地方フォーラム間の情報格差の是正、活動の支援を行う。 今年度は地方フォーラム相互ならびに全国フォーラムと地方フォーラムの間の情報共有に重点を置く。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方フォーラムごとの活動方針整理 <ul style="list-style-type: none"> ・地方フォーラム毎の活動計画把握と過年度までの実施状況の整理 ・事業計画書に基づく地方フォーラムごとの活動方針整理 2. 各地方フォーラム間の情報共有方法検討 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内、広域間の連携促進（情報共有推進） 3. 自治体関与の道筋検討ならびに対応実施・具体のモデル作り支援 <ul style="list-style-type: none"> ・地方フォーラムを通じ自治体ニーズを把握し内容を整理する。そのうえで自治体の抱える課題を抽出する。 ・地方フォーラムを通じ試行、実装の実態把握を行い、支援方策案を検討し企画部会に提示する。
行程	～R2年7月末 地方フォーラムごとの活動方針整理 ～R2年10月末 各地方フォーラム間の情報共有方法検討と実施 ～R3年3月末 自治体関与の道筋検討ならびに対応実施・具体のモデル作り支援
体制	活動全般：各地方フォーラム、革新的技術フォーラム、技術者育成フォーラム、市民参画フォーラムとの連携 インフラテック2020：日経、各地方フォーラム、会員自治体との連携
イベント予定	R2年11月末 インフラテック2020の企画検討
その他	

(4) 技術者育成フォーラム

実施計画概要

今年度目標	自治体支援フォーラム、地方フォーラムと連携し、官民の技術者による課題解決ワークショップを開催する。また、地方フォーラムでのインフラメンテナンス時代のリーダー育成を目指す先進的な取り組みをフォーラムの連携活動として支援していく。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 包括的民間委託、技術者派遣等の制度に関する新たな民間ノウハウを活用する手法において、地域の担い手側に求められる役割や技術の方向性について全国的テーマとして自治体支援フォーラム、地方フォーラムと連携して情報交換の場を作る。 2. 維持管理の前線でのニーズ課題解決ワークショップを地方フォーラムを通して実践支援する。また、シンポジウム等意見交換の場を作る。 3. 地方フォーラムでのインフラメンテナンス時代のリーダー育成を目指す取り組み。（例えば：「ちゅうごく」フォーラムでの取り組み「工業高校生による道路パトロール活動」）を支援していく。
行程	<p>～R2年7月末 各地方フォーラム、自治体支援フォーラム間の情報共有方法の検討と実施</p> <p>～R2年10月末 前線での官民ニーズ課題解決ワークショップの開催（地方フォーラムモデル事例）実施と検証</p> <p>～R3年3月末 ワークショップ（地方フォーラムモデル事例）の展開、各フォーラム連携でのシンポジウム等開催。「工業高校生による道路パトロール活動」等の地方フォーラムの取り組み支援。</p>
体制	活動全般：自治体支援フォーラム、各地方フォーラム、市民参画フォーラム連携地域活動団体（産官学プラットフォーム）との連携
イベント予定	<p>R2年9月～10月末 官民ニーズ課題解決ワークショップ開催</p> <p>R2年11月 「ちゅうごく」フォーラム「工業高校生による道路パトロール活動」社会インフラテック2020カンファレンス参画検討</p> <p>R3年1月～2月 官民ニーズ課題解決ワークショップ、シンポジウム開催</p>
その他	

(5) 市民参画フォーラム

実施計画概要

今年度目標	出前授業およびワークショップ開催数：5 今年度は小学校出前授業および問題解決のためのワークショップを各地方へ展開していく。加えて行政と市民の共同事例を広く紹介しモデル事例の展開を行う。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 市民向けイベントへの参加 (2) 小学校出前授業の開催 (3) 問題解決のためのワークショップの開催 (4) 市民協働事例の収集調査、モデル事例の展開
行程	<p>通年：活動促進のためのフォーラム参加者の募集</p> <p>～R2.7月末：R元年度の活動整理、以降の活動に向けた実施計画の検討</p> <p>～R3.3月末：各イベント活動の実施</p>
体制	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方フォーラム（市民向け活動）との連携 ✓ 会員団体で実施している市民協働活動との連携、支援 ✓ 土木学会（市民向け活動）との連携
イベント予定	<ul style="list-style-type: none"> ✓ こども霞が関デー（8月上旬） ✓ サイエンスアゴラ（11月上旬） ✓ 社会インフラテック（11月下旬） ✓ 小学校出前授業（開催時期未定）
その他	

4. 地方フォーラム活動計画

以下に、地方フォーラムの活動に関し、既実施ならびに計画の概要を示す。

地方フォーラム	活動計画（令和2年度）概要		
北海道フォーラム	活動目的と概要		
	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度までの活動を踏まえて、各グループでテーマや対象等を設定し、継続的にインフラメンテナンスに関する実情把握や課題解決に向けた活動を行う ・各グループ間や関係する組織、団体、有識者と連携し、インフラメンテナンスの重要性を発信する 		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	シンポジウム・講演会・セミナー等	秋以降	北海道の地方部においてインフラアセットマネジメントを考える場
※活動計画は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今後見直す可能性がある			
東北フォーラム	活動目的と概要		
	自治体会員が抱えるインフラに関する課題解決のために、行政会員からのニーズ紹介、企業会員からの技術やノウハウ等の提案とのマッチングイベントを開催する。また、自立的活動の基盤となる行政会員、企業会員数の増加を目指し、独自のパンフレットを作成し広報活動に活用する。		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	マッチングイベント in 盛岡、仙台	9月、12月	行政会員を対象としたニーズ調査実施、マッチングイベントを開催。メンターによる特別講演を開催。
関東フォーラム	活動目的と概要		
	<ul style="list-style-type: none"> ○先行事例紹介等によりメンテナンス技術等による課題解決に向けた情報提供 ○地方自治体のインフラメンテナンス課題解決に向けた支援として、民間技術とのマッチングを結び付ける 		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	第1回イベント 第2回イベント	第2四半期 第4四半期	先行事例紹介、パネルディスカッション 講演、マッチングイベント等
北陸フォーラム	活動目的と概要		
	主に自治体が抱える課題に関する知識を深めるとともに、人材交流により課題解決を見いだすことを目的とし、北陸インフラメンテナンスフォーラムを平成30年3月26日に設立しました。 活動にあたっては、産学官民協力して取り組む他、メンテナンス会議など既存組織で取り組んでいる活動と連携し、取り組むものとしております。		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	第4回フォーラム	未定	詳細未定
中部フォーラム	活動目的と概要		
	インフラ維持管理の自治体支援を目的に、自治体が抱える課題を共有し、課題解決に向けた取組み（プラットフォームの構築と仕組み作り）として、①自治体ニーズの掘起し、②シンポジウムやマッチングによる解決策の提示、③産学官民の連携促進（連携方法の試行）、を実施する。また、他の（中部の）組織と連携した、自治体支援のプラットフォームの充実を図る。		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	自治体ニーズのヒアリング	R2.9月頃	自治体を招いた意見交換会等
	連携イベント	R2.10月頃	静岡県新技術交流イベントとのコラボ
パネルディスカッション	R3.2月頃	民への広報活動	

地方フォーラム	活動計画（令和2年度）概要		
近畿フォーラム	活動目的と概要		
	インフラメンテナンスの理念の普及や自治体等の施設管理者が抱える課題解決に必要な新技術・体制等の発掘や導入促進と官民マッチングや民民マッチングなどのオープンイノベーション促進やインフラメンテナンス産業の活性化に資することを目的とする。		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム 2020	2020/8/6 ～2020/8/7	
	実証実験（令和元年分）	調整中	路面性状調査技術
	実証実験（令和元年分）	調整中	歩道橋における化粧パネル裏の点検技術
	実証実験（令和元年分）	調整中	人道橋のメインケーブル維持管理技術
	フォーラム	検討中	
	ピッチイベント	検討中	
実証実験	検討中		
中国フォーラム	活動目的と概要		
	インフラという地域の資産を維持するため、行政だけではなく産官学民での連携による持続可能な維持管理や予防保全の取組みが重要であるとの観点から、①インフラメンテナンスのベストプラクティスの水平展開、②民間企業と連携した中国地方発の技術開発、③地域における市民等の連携の促進、などに取り組み、確実かつ効率的なインフラメンテナンスの実現を図ることを目的とする。		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	伊島小学校通学路道路パトロール体験会	10月～11月	通学路を利用する児童とその保護者、地域の市民による道路点検の体験会
	第3回ワークショップ	11月	施設管理者のニーズに対して民間企業のシーズ技術による解決の方向性を検討する場として実施
	シンポジウム	12月	基調講演、パネルディスカッション
	第3回ピッチイベント	12月	第2回ワークショップで取り上げたニーズに対して民間企業等によるシーズ技術のショートプレゼンテーションを実施
四国フォーラム	活動目的と概要		
	自治体の課題に対し、民間企業が解決策となる技術を提案し議論を深めて支援を行う。		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	ピッチイベント	検討中	ピッチイベントを予定しており、開催方法を検討中
イベント	検討中	検討中	
九州フォーラム	活動目的と概要		
	九州全域の地方自治体の参加拡大を目的に、九州各県でのピッチイベントを実施 インフラメンテナンスのイメージ向上及び将来の担い手確保を目的に市民参画イベント（キッズリポーター）を実施		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	ピッチイベント（福岡）	10月21日	九州内におけるマッチングイベント（九州建設技術フォーラムと同時開催）
	キッズリポーター	11月予定	「土木の日」に合わせた市民参画イベント
ピッチイベント（長崎）	1月予定	地方のマッチングイベント（長崎市内）	

地方フォーラム	活動計画（令和2年度）概要		
沖縄フォーラム	活動目的と概要		
	沖縄フォーラムでは、民間技術を活用し、地方自治体の有する課題解決にむけた技術マッチングを行う。また、技術講演会では、グローバル社会における災害リスクマネジメントのあり方について、持続可能な社会経済基盤とその活動を主眼に講演を行う。（実施については、コロナ禍の状況を鑑みて実施予定）		
	活動・行事名	開催予定日	内容
	沖縄フォーラム	9月予定	新技術のマッチング
技術講演会	10月予定	学識経験者を招いて、地方自治体や民間事業者向けに講演を行う。	

令和元年度 KPI 結果

	項目	KPI	数	KPI内容説明
KPI総合計	自治体支援	支援自治体数 100	58	自治体ニーズ紹介等実施の自治体数。
		フォーラム実施数 50	35	地方フォーラム開催数
		マッチング・現場試行・実装実施数 150	65	地方フォーラムにおけるマッチング検討数ならびに現場試行実施数。
		・マッチング検討数	44	
		・マッチング成立数	9	
		・現場試行数	10	
		・社会実装数	2	
	市民参画	ワークショップ講座開催数 5	4	ワークショップ講座開催数。
KPI小計 全国フォーラム	自治体支援	支援自治体数	9	自治体ニーズ紹介等実施の自治体数。
		支援本邦企業数 ※海外	31	国（地域）ニーズ紹介等実施の国（地域）数。
		フォーラム実施数	9	地方フォーラム開催数
		マッチング・現場試行・実装実施数	6	地方フォーラムにおけるマッチング検討数ならびに現場試行実施数。
		・マッチング検討数	6	
		・マッチング成立数	0	
		・現場試行数	0	
	・社会実装数	0		
市民参画	ワークショップ講座開催数	0	ワークショップ講座開催数。	
KPI小計 地方フォーラム	自治体支援	支援自治体数	49	自治体ニーズ紹介等実施の自治体数。
		地方フォーラム実施数	26	地方フォーラム開催数
		マッチング・現場試行・実装実施数	59	地方フォーラムにおけるマッチング検討数ならびに現場試行実施数。
		・マッチング検討数	38	
		・マッチング成立数	9	
		・現場試行数	10	
		・社会実装数	2	
	市民参画	ワークショップ講座開催数	4	ワークショップ講座開催数。